

令和 7 年度
おおいた地域連携プラットフォーム

外部評価報告書

令和 8 年 6 月作成

● 目次

I.	令和7年度事業外部評価に係る概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1	外部評価委員会委員	
2	外部評価の流れ	
3	評価方法	
II.	項目別評価・・・・・・・・・・・・・・・・	3
1	「地域交流・課題検討部会」	
2	「教育プログラム開発部会」	
3	「地域人材創出部会」	
4	「プラットフォームの運営体制について（総会・事業推進本部・協働事務局）」	
5	「総括」	
III.	評価まとめ／外部評価を受けて・・・・・・・・・・・・・・・・	8
1	評価まとめ	
2	外部評価を受けて	

I 令和7年度事業の外部評価に係る概要

1. 外部評価委員会委員

委員長	大 森 昭 生	共愛学園前橋国際大学 学長
委 員	佐 藤 恭 司	大分県自治人材育成センター 常務理事兼事務局長
委 員	阿知波 孝 典	FIG 株式会社 取締役常務執行役員
委 員	渡 邊 将 貴	株式会社日本政策投資銀行 大分事務所 所長代理

2. 外部評価の流れ

① 令和8年6月22日（月）

令和8年度第1回外部評価委員会開催（対面およびMicrosoft Teamsによるハイブリッド開催）

- ・ おおいた地域連携プラットフォーム協働事務局から、外部評価委員に対し、令和7年度おおいた地域連携プラットフォームの事業について説明
- ・ 令和7年度事業の評価方法の説明
- ・ 今後のスケジュールの確認

② 令和8年6月22日（月）～ 6月26日（金）

- ・ 各委員による評価シートの作成
- ・ 各委員は、作成した評価シートを、おおいた地域連携プラットフォーム協働事務局に提出

③ 令和8年6月30日（火） 評価結果の取りまとめ・確定

- ・ 各委員からの評価をおおいた地域連携プラットフォーム協働事務局にて取りまとめ、各委員へ報告
- ・ 令和7年度事業に係る外部評価の確定

3. 評価方法

令和7年度の事業実績について、各委員は、1「地域交流・課題検討部会」、2「教育プログラム開発部会」、3「地域人材創出部会」、4「プラットフォームの運営体制について（総会・事業推進本部・協働事務局）」、5「総括」の項目ごとに、以下の基準により評価した。

※評価基準：S：特筆すべき進捗が見られる A：順調に進んでいる

B：やや順調に進んでいる C：やや遅れている D：遅れている・未実施

そして、各委員の評価をもとに、外部評価委員会としての各項目の総合評価は、以下の方法により判定した。

※次式により評価点を算出し、以下のとおり総合評価を決定

$$\text{評価点} = (4.0 \times \text{S 評価の数} + 3.0 \times \text{A 評価の数} + 2.0 \times \text{B 評価の数} + 1.0 \times \text{C 評価の数}) \div \text{評価委員の数}$$

<小数第2位を四捨五入>

評価点	≥ 3.5	≥ 2.5	≥ 1.5	≥ 1.0	< 1.0
総合評価	S	A	B	C	D

Ⅱ 項目別評価 ※評価者が特定されない形でまとめている。

1. 「地域交流・課題検討部会」 ☆総合評価：A (評価点：3.3)

(S 評価：1 名、A 評価：3 名、B 評価：0 名、C 評価：0 名、D 評価：0 名)

<委員からのコメント（評価ごと）>

◇評価：S

- ・ 非常に豊富なマッチングの事例があり、その数も増加していること。またそのための予算も増加していることは素晴らしい。課題解決事業も目を見張るものであるが、学生のフィールドワーク支援は、フィールドワークそのものが地域を知り好きになるきっかけになるのみならず、県・プラットフォームからの支援で行われているということが学生たちにとって地域に支えられて成長するという感覚を得られる機会になっているものと思う。

◇評価：A

- ・ 県、市町村、県内企業と地域課題解決に向けて取組を行っていただいている。この取組の周知を県とともに行うことで、同じような課題をもつ市町村や企業への波及が考えられるので、報告書の配付だけでなく周知方法について検討願いたい。
- ・ 県との連携の取組に加え、8つの市町村と9の地域課題に取り組み地域との交流ならびに地域課題の解決に向けた活動が活発に実施された。
- ・ 企業との連携をさらに活性化することで学生が地元就職する機会が期待される。

2. 「教育プログラム開発部会」 ☆総合評価：A (評価点：3.3)

(S 評価：1 名、A 評価：3 名、B 評価：0 名、C 評価：0 名、D 評価：0 名)

<委員からのコメント（評価ごと）>

◇評価：S

- ・ 「おおいた共創士」は県内で働くことへの関心を醸成する素晴らしい仕組みとしますので、受講者の安定確保に向け、導入拡大や広報等の取組をより推進されることを期待します。
- ・ リカレント教育に関し、今年度追加された経営革新 DX の講座はニーズの高い領域としますので、このような分野の講座は何らかの形で継続されることを期待します。

◇評価：A

- ・ S でもよい取組であるものの、単位互換科目の受講者数が伸び悩んでいることを踏まえて A とした。リカレントへの取組の充実も必要なことから、オンデマンド授業の充実が期待される。
- ・ おおいた共創士は本プラットフォームの象徴的な取組であり、企業の優遇措置も豊富で素晴らしい。共創士の卒業後の動向についても追跡調査ができるとなおよいのではないかと思う。
- ・ 特色ある活動がバランスよく活動されており、高く評価できます。
特におおいた共創士認証制度の活動は今後も期待しています。同窓会は是非実施できるといいですね。

3. 「地域人材創出部会」 ☆総合評価：A (評価点：3.0)

(S 評価：0 名、A 評価：4 名、B 評価：0 名、C 評価：0 名、D 評価：0 名)

<委員からのコメント（評価ごと）>

◇評価：A

- ・ 素晴らしい取組がなされており、かつ改善もされるなどしていることは注目に値する。一方、不可抗力の部分は相当にあるものの、地元定着が今一歩進んでいない現状もあることから、A とした。ただし、この取組をしていなかったらもっと流出している可能性もあり、評価が難しいところでもある。
- ・ 令和 8 年度からシゴト発見フェスタを大分県・おおいた産業人財センターと共同で行っているが、その他の事業も県との共同や県への協力で行うことで、業務量の削減につなげるとともに、事業効果をさらに上げていただきたい。
- ・ 非常に難しいテーマであるが、斬新でチャレンジング(考える力・前に進む力)な人財の創出につながる活動も取り組んでもらいたい。

4. 「プラットフォームの運営体制について（総会・事業推進本部・協働事務局）」

☆総合評価：S（評価点：3.5）

（S 評価：2 名、A 評価：2 名、B 評価：0 名、C 評価：0 名、D 評価：0 名）

＜委員からのコメント（評価ごと）＞

◇評価：S

- ・ 高等教育機関・自治体・産業界が自分事として地域課題に取り組む体制となっており、かつ予算規模も増加しているなど、その運営体制や環境がより一層充実していることは特記されるべき事項である。
- ・ 今後は県教委との連携も推進し、高校教育改革にもプラットフォームが貢献できるとなお全県的な取組になると期待される。
- ・ 本プラットフォームの事業の見直しに着手し、変化しながらも進んでいる活動に敬意を表します。

5. 「総括」 ☆総合評価：A (評価点：3.3)

(S 評価：1 名、A 評価：3 名、B 評価：0 名、C 評価：0 名、D 評価：0 名)

<委員からのコメント（評価ごと）>

◇評価：S

- ・ これほど充実した取組を、国公私を超えて大学が連携し、かつ県や産業界が自分事として参画しながら展開している事例は、今後の日本の地域大学の在り方のロールモデルになると思われる。
今後はさらに前に進むためにも、連携推進法人への展開も視野に入れて将来像を描いていただきたい。

◇評価：A

- ・ 様々な角度から産学官連携の推進に向けた取組がなされていると感じます。施策効果のモニタリング等も踏まえ、引き続き各種の取組を推進・アップデート頂ければと思います。
- ・ 大分県内の産学官連携の中心として、今後も活動をしていただきたい。
- ・ 総じて素晴らしい活動になっていると感じます。

Ⅲ 評価まとめ／外部評価を受けて

1. 評価まとめ

「Ⅱ 項目別評価」を下記のとおり一覧表にまとめた。

No.	評価項目	総合評価 (評価点)	備考
1	地域交流・課題検討部会	A (3.3)	・S 評価 1 名 ・A 評価 3 名
2	教育プログラム開発部会	A (3.3)	・S 評価 1 名 ・A 評価 3 名
3	地域人材創出部会	A (3.0)	・A 評価 4 名
4	プラットフォームの運営体制について (総会・事業推進本部・協働事務局)	S (3.5)	・S 評価 2 名 ・A 評価 2 名
5	総括	A (3.3)	・S 評価 1 名 ・A 評価 3 名

2. 外部評価を受けて

まずは、今回の評価結果を真摯に受け止めたい。指摘をいただいている項目はもちろん、一定の評価をいただいた事業についても、プラットフォームのさらなる発展のために、事業協働機関一丸となって、積極的な取組に努めたい。